

そらも、うみも、ひとも、つながっているから

自分のこととして考える

顔を上げて、3・11後を生きるために

## 今年度の活動を、みんなで。

### 「ミンナソラノシタ」の幼稚園留学 今年も応援します！

100年後もみんな空の下、幸せに暮らしてほしい。「ミンナソラノシタ」は、そんな思いで震災後の福島の子どもたちを応援している京都のママたちによる福島応援プロジェクトです。福島幼稚園児とお母さんを京都に招き3週間、西京区の幼稚園に通ってもらう「保養留学」。生活クラブ京都エル・コープでは2017年から組合員カンパを募り、食材提供などの形で「ミンナソラノシタ」の幼稚園留学を応援しています。

ミンナソラノシタ

被災地の生活クラブの子どもたちに  
保養の機会を。

### リフレッシュツアーを開催します。

被災地の子どもたちの放射能による被曝を低減させたい。福島・栃木の生活クラブの組合員家族を京都に招き、その不安から身を離し、一時でもリフレッシュしてほしい。

そんな思いで、生活クラブ京都エル・コープでは2011年から毎年、被災地の組合員家族を対象にリフレッシュツアーを開催しています。これまで、155名の被災地の生活クラブ組合員家族を京都に招いています。今年度は1/2～1/5の日程で1/4には組合員交流会を行います。復興支援としてだけでなく自分たちのこととして、被災地・被災者の実情や人権について、保養の必要性など、ともに話せる機会とします。交流会への参加をお待ちしています。

今こそ聞きたいお話し会

### 未来へのバトン

## 100年先の子どもたちのために

～福島のと保養留学～

放射能が体に与える影響、そして被災地の子どもたちにとっての保養の重要性について、チェルノブイリ原発事故後ベラルーシに渡り子どもたちへの医療支援を行った医師であり現松本市長である菅谷昭(すげのや・あきら)氏に聴きます。また、福島のお母さんの日々の暮らし、葛藤そして希望。生の声に耳をかたむけましょう。

今を暮らす私たちが、どのようなバトンを、未来を生きる子供たちに渡すことができるのか。このお話し会の開催を企画されたミンナソラノシタのみなさんと私たち生活クラブが思いを共にするところです。

- 一人でも多くの方に参加していただき、未来に目を向けてみんなで考える時間となりますように…。

今週同時配布  
のチラシをご  
覧ください。



「福島の子どもと  
知る権利を守る活動」としての

### 甲状腺検査活動を継続し、避難者支援に取り組みます。

福島県による「県民健康調査」の県内全域での検査では、専門家の従来の知見である「100万人に一人」をはるかに上回る218人(2千人弱に一人)で甲状腺がんが見つかっています。(悪性もしくは悪性疑い)「福島県県民健康調査検討委員会」は2016年に公表した「県民健康調査における中間とりまとめ」で、その原因については「総合的に判断して、放射線の影響とは考えにくいと評価する」としていますが、被災された方の不安はそれで拭かれると言えるのでしょうか。

生活クラブでは、2012年から医療機関や医師の協力を得て、毎年甲状腺検査を行い、福島県による検査との比較を通じて、放射線による子供たちの甲状腺への影響を明らかにしたいとその結果を積み重ねています。検査活動には参加者の継続的な協力が必要ですが、年々減少傾向にあります。昨年京都では6世帯子ども9名の協力がありました。原発事故から8年が経過し関心が薄まりつつあると感じますが、あらためて組合員への協力を呼びかけます。

そして、福島県外への避難により、甲状腺検査の機会を失ってしまわないよう、避難中の子どもたちの甲状腺検査費用を支援するカンパを呼びかけます。

## 福島幼稚園留学等支援カンパ(福島カンパ)

これらを使用とする組合員カンパを募ります。目標金額は30万円です。多くの方のご協力をお願いいたします。

- ★「ミンナソラノシタ」幼稚園留学への食材提供と活動支援
- ★10月22日お話し会「未来へのバトン」開催費用の一部
- ★避難者(自主避難を含む)の子ども(2011年の事故当時に妊娠中のお子さん～18歳)5名の甲状腺検査費用

一口500円 OCR注文番号 **45** 提出週 9月24日(火)～9月27日(金)